

こんにちは 牛越です

【第164回】

新年度が始まる



大町市長
牛越 徹

今年の桜は、昨年よりやや遅く、市役所の庭では先月10日に開花を迎えました。

さて、新年度のさまざまな事業が本格的に始動しました。12日、商工会議所や市などの主催による新規就職者激励会が、サン・アルプス大町で開かれ、市内18事業所に就職された38名の皆さんが出席しました。あいさつで私は、もし、仕事で失敗して困るようなことがあれば、臆することなく上司や先輩などに相談し、教えられたことを忘れずに、困難を乗り越える力を身に付けてほしいと訴えました。そして、地域の未来は若い皆さんの活躍にかかっており、ぜひ頑張ってくださいと激励しました。13日には「ひとが輝くまちづくり事業」公開審査会が市文化会館で開催されました。審査では、市民の中から選ばれた8名の審査員が公開の場で厳正な審査を行い、事業の採否と補助額を決定します。

今年、地域の活性化やまちづくりに取り組む11の市民活動団体の皆さんが、パワーポイントや動画を使い熱心に活動内容を発表しました。北アルプス国

際芸術祭の会期中に、地域に語り継がれた民話で来訪者を迎える取り組みや、商店街でもてなしショップを開店する活動をはじめ、和太鼓で海外の姉妹都市と交流する事業や、創立50周年の記念演奏会を開催する和太鼓活動の取り組み、山城跡の保存・整備や学習会などの活動、ポケットパークや小学校の花壇に花を植栽し管理する取り組みなどが発表されました。審査の結果、全ての団体が採択され、合わせて923万円余の補助が決定されました。

また、15日には黒部ダム、立山黒部アルペンルートの全線開通式が行われ、いよいよグリーンシーズンが幕を開けました。扇沢駅では、海外を含め多くのお客様が、人気スポットのダムや雪の大谷を目指してバスに乗り込んでいきました。

ダムを結ぶ関電トンネルの電気バスは、トロリーバスからの歴史をつなぎ、今年60周年を迎えます。室堂へ向かう立山トンネルトロリーバスは、今年ラストランとなり、それぞれ記念イベントが予定されており、大いに盛り上がりげだと思います。